

学部・学科の特性として果たすべき、将来の高度情報化社会を支える人材育成の一つとして実施する教育プログラムです。

現代社会では、既にあらゆる情報が存在しており、その多くがデータに基づいて分析・判断されています。この学部の数理・データサイエンス・AI応用基礎レベルでは、リテラシーレベルを基盤とし、実践をととしたAI・データ活用の学修を徹底することで、多様な情報やデータを客観的に捉え、本質的に見抜く基礎力、批判的に考察する力が身につきます。

STEP3 AI・データ活用の実践力定着化※学科毎に各1科目必修

情報変革科学部「数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム」
「発展科目」

・アジャイルワーク1（2単位）、認知情報科学実験1（2単位）、NWプログラミング応用演習（2単位）
情報工学科指定科目 認知情報科学科指定科目 高度応用情報科学科指定科目

STEP4 AI・データ活用の応用・展開

3・4年生 専門科目・ゼミ・卒論

STEP2 AI・データ活用の基礎力の定着化、数学的素養の修得 ※全科目必修

情報変革科学部「数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム」
「数理科目」
・数学基礎（2単位）、線形代数基礎（2単位）、確率統計（2単位）

情報変革科学部「数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム」
「基盤科目」
・数理・DS・AI入門（1単位）、AI・プログラミング基礎演習（1単位）

STEP1 AI・データ活用の基礎力を身に付ける ※全科目必修

全学部共通の「数理・データサイエンス・AI基礎教育プログラム」
・初年次教育（1単位）、数理・DS・AI入門（1単位）

情報変革科学部 数理・データサイエンス・AI応用基礎教育プログラム構成

※プログラム対象科目は全て必修

[発展科目] データ活用の実践を通して数理・データサイエンス・AIの応用力を身に付ける。

アジャイルワーク1 (2単位)

※情報工学科

認知情報科学実験1 (2単位)

※認知情報科学科

NWプログラミング応用演習 (2単位)

※高度応用情報科学科



[数理科目] データ活用（収集、分析、加工、可視化）の基礎力を向上するための数学的素養を身に付ける。

数学基礎 (2単位)

線形代数基礎 (2単位)

確率統計 (2単位)



[基盤科目] 数理・データサイエンス・AIの基礎力を身に付ける。

AI・プログラミング基礎演習 (1単位)

数理・データサイエンス・AI入門 (1単位)